



## 月例山行

## 高賀山 1224m

7月16日 織田、伴野、市橋、水野、柴橋、水谷、畑中、中村、(大藤)

▲7時名城コンビニ発、板取川沿いの R256 から支流を詰め高賀神社を過ぎて、8時30分駐車場着。先着の車台。8時50分出發、沢沿いにひたすら真っすぐ上る。きつくはないが、小石がゴロゴロした径と巨岩が随所に鎮座する杉林、10時50分稜線の御坂峠へ出る。登山者は少なく、下ってくる単独行者に3人程出会う。



左手の緩やかな稜線をあらく。11時30分頂上到着。周囲は開けていて展望は良いがあいにくの曇り空で遠くの山々は見えない。昼食を摂り、12時下山。下りは径の小石で歩きにくく、時々滑り、注意しながらの下山。道中ズーッとウグイスのサエズリが聞こえていたが少し訛っているようだった。

▲暑くても1,000mを超えていると山の上はやはり暑さも和らいでいた。下るにつれ暑さが現実になる。高齢者には7月、8月の低山は、できれば避けたいところである。14時10分駐車場着。

記録：織田

記録：織田



## インドヒマラヤ 沖隊長7月30日無事帰国

▲6月27日出国、インドヒマラヤへ登行していた沖さんが予定通り7月30日に帰国しました。無名峰への初登頂、命名のお土産をもつての無事帰国です。後日の土産話を期待しましょう！

## 山岳遭難多発!!

Net から



▲Net に山岳遭難記事が溢れている。コロナからの解放感か？ 富士山の人気は高い。2022年の登山者は、4ルート合計で約16万人、うち吉田ルートが94,000人で6割近くを占める。コロナ以前は20~30万人だった。【記事の一例】

- 富士山下山中の60代男性が心肺停止状態 富士宮ルート新7合目付近
- 京都府の男性が富士山登山中に転倒し搬送先の病院で死亡 登山中に体調不良を訴える
- 【続報】下山中に足を滑らせ1~2m落下 愛知県の73歳男性をヘリコプターで病院に搬送
- 【続報】富士山頂付近で吐き気や頭痛…36歳のカナダ人男性が救助要請 山岳遭難救助隊がブルドーザーで救助 静岡・御殿場警察署

北アルプス白馬乗鞍岳で男性が行動不能に

北アルプス南岳付近、男性が行動不能に

根子岳で水戸市の公務員男性が死亡

八ヶ岳連峰根石岳 茅野市の女子中学生行動不能、救助

八ヶ岳連峰権現岳 横浜の男性が骨折

## 山の服装NG あれこれ

- 1 半袖、半ズボン——山にもよるが、やぶ漕ぎ、ひっかき傷、虫、ヒル、日焼け、擦り傷
- 2 綿の服—— 乾きにくい、体にまとわりつく
- 3 黒い服—— 蜂さされ、暑い、熱中症
- 4 山スカート——山ガールファッションは、岩場、クサリ場、梯子、シャツや、ヒラヒラは引っかけ危険 ——以上 Net から

■ 四季を通じ色々な山やルート、幕営などの経験を積むと、自ずからそれぞれの山行に合った服装が身に着く。それは、山の自然に溶け込んで似合ってくる。冬山では、テントやヤッケ、衣服などは、暖色系のものが心を和ませる。赤系統のものは、良く目立ち心強い。クマと間違われる危険も防ぐ。雪山では真っ赤なヤッケが良く似合う。